

人間の形成

—人格心理学のための基礎的考察

G・オルポート著
豊沢登訳
(理想社)

南 信子

オルポートは、世界的に著名な心理学者であり、特にパーソナリティに関する論文、著書が多い。この書には、人格心理学のための基礎的考察という副題がついているが、博士のこれまでのパーソナリティ研究の精髓を、平明に要約し、今後の人格心理学の研究の方向を指示しているように思われる。オルポートの、その論旨の明快さ、論述の周到さ、視

野の広さは、学界の定評となっているようである。

オルポートは、自然科学的心理学の風潮に対して、人間の人格の立場をあきらかにしようとしている。生きた人間を、全体的包括的に、またあるがままにとらえようとし、その人格の生成の過程について透徹した考察を与えている。この書の、プロフィール論(十一節)、志向された生成(十四節)、良心(十六節)、価値の図式(十七節)等において、特にそれを学ぶことができる。またオルポートは、人格の独自性、個性を強調し、人格の形成は誕生とともににはじまり、その全生涯を通じて継続されるとのべている。人格の基礎が形成される重要な意味をもった、幼児期の教育を担当する保育者の必

読の書であるといえよう。

またオルポート博士は「人間によってつくり出される戦争」は、「人間の決意によって避けることができる」ことを、全世界に宣言した心理学者たちの最初の人であることを知り、感銘を深くするのである。さらに、オルポート博士が、本書のほん訳許可を求めた訳者の手紙に対する返事のなかに、「私たちは、それ(ほん訳という仕事)による結びつきが、平和と善意の架橋の一端になることを望みたいものです」とかかれていたことが、本書に紹介されているが、博士のこの言葉にふれる時、博士の学問の貢献以上に、博士に対する尊敬と親愛の気持ちをかきたえられるのである。

(北陸学院短期大学)